

ソーシャルな、暮らし。①

social lifestyle selection by **sotokoto**

photographs by Jiro Matsushita
text by Yoshino Kokubo

チヨキ、チヨキ、チヨキ……。[何をしているの!?]と思われそうな行為が、このクッションカバーでは許されている。なんとハサミを入れることで布の柄が変わっていくのだ。布が2層になっていて、1層目の白い部分にハサミを入れると、隠れていた水色の湖や魚が現れる。まるで、氷を割って釣りが始まったかのように。

製作したのは、テキスタイルデザイナーの水室友里さん。縦糸と横糸によって多彩で細かい柄を出す「ジャカード織」という織物の技術を用いて考案した。「フィンランドに留学してジャカード織の技法を学びました。この柄は留学中に訪れた冬のラップランドでの経験をもとにデザインしたものです。私も体験しましたが、フィンランド人はサウナが大好きで、サウナの後に北極海で泳ぐんです。だから冬服の人と一緒に水着の人もいて(笑)。このクッションがあることでコミュニケーションが生まれたらうれしいですね」。どこにハサミを入れるかは自由。思い切って楽しもう。

ハサミで、描くように。



「どこまで切ろうか?」を楽しむ。

LAPLAND-fishing

「人と布との関わりの中に驚きや楽しさをもたらすこと」をテーマにしている水室友里さんの作品をクッションカバーにしたもの。ハサミでカットして柄をアレンジできる。「LAPLAND」シリーズのほか、「SHIBA」シリーズと「HAKKUTSU」シリーズ、「SKY」シリーズがあり、ハサミを入れるタイプの柄は計13種類ある。オンラインショップなどで販売中。詳細は公式サイトへ。2月4日・5日に京都、3月25日・26日に東京で開催される「布博」に出店予定。●7560円(YURI HIMURO <http://h-m-r.net>)

ここがオススメ ぶだんはあまりできない「インテリアのアイテム」にハサミを入れる行為ができるところがおもしろい。さらに、自分で手を加えると愛着もわく。布地が汚れてきたらそこを切るなど、さまざまな使い方がありそう。